

第一部「文献の探索・発見・入手」では、京大での図書・雑誌の探し方について、OPAC 端末、目録カードの使用法を説明しています。

第二部「様々な学術情報へのアクセス」では、論

文等を探す情報源（文献目録、CD-ROM、internet 上の URL アドレスなど）について紹介しています。
(参考調査掛)

新入生オリエンテーション開催のご案内

まもなく4月、新入生のみなさんをお迎えして、図書館の利用方法をお知らせし、大いに利用していただくこと、オリエンテーションを下記の日程で開催することになりました。図書館の建物内の設備やいろいろなサービスを知っていただき、キャンパス・ライフに役立てていただきたいと思います。第一部、第二部それぞれ同じ内容で、三日間6回ずつ開催しますので、ご都合のいい時においでください。

(第一部) 附属図書館の利用案内

日時：下表の①の時間帯

場所：附属図書館3階AVホール

内容：1. 附属図書館の設備の案内
2. 各種サービス内容の説明
3. カード目録とOPACについて

(第二部)

日時：下表の②の時間帯

場所：附属図書館1階 カウンター前

内容：OPAC/TSS の使用法説明と実習

	4/21(月)	4/22(火)	4/23(水)	5/14(水)	5/15(木)	5/16(金)
12:15~12:45	①	②	①	②	①	②
15:00~15:30	②	①	②	①	②	①

(参考調査掛)

図書館利用証と学生証の一元化について

図書館業務における事務改善合理化事項のうち、重要事項として事務機構改善検討委員会報告書で指摘していた図書館利用証の一元化については、平成8年1月に附属図書館館長から教務事務電算管理運営委員会に、図書館利用証と学生証の機能面での統合についての検討を依頼し、その後関連事務部門間でも磁気カード化を含めて実現に向けて検討を行ってきました。

その結果、平成9年度以降の新入学部生と大学院生について、現行学生証のレイアウト変更を行い利

用証番号を印刷することで一元化を実現することとなりました。

このことにより、事務改善合理化の実現とともに利用者は学生証だけで入館や貸出ができることとなります。

なお、現在は附属図書館と総合人間学部図書館の入館と貸出し、理学部中央図書室での貸出しだけに対応していますが、平成10年1月の図書館業務用電子計算機システム更新後は、このカードで利用可能な図書館(室)が増える予定です。(資料運用掛)

平成8年度大型コレクション「古地図及び地理学文献コレクション」 (室賀コレクション) を購入

平成8年度文部省に標記図書資料(大型コレクション)の購入費を要求いたしましたところ承認されました。

この室賀コレクションは、元京都帝国大学文学部

助教授で、地理学史の研究者であった故室賀信夫氏(1907-1982)が収集した、地理学史・地図史分野の国内有数の文献群です。

古地図511点、和本199点、洋書285点、その他2